

新とよみ生協病院へ引っ越ししました。



新病院建設準備室  
課長 渡嘉敷博和

2月1日、年明けより楽しみにしていた病院引っ越しの日を迎えました。今回は沖縄協同病院、中部協同病院の引っ越しとは違い同じ敷地内での引っ越しとなり、患者様の移送も車椅子のみで行いました。しかし、隣と言っても患者様の安全をしっかり担保する事が前提なので、事前に移送シミュレーションを2回ほどおこなったの取り組みとなりました。そして、平日の木曜日と言う事もあり法人内での応援も最小限にするなどコンパクトな人員での取り組みで安全におこなうことができました。4階・一般病棟と2階・回復期病棟の引っ越しでは2時間を予定していましたが、1時間と10分程度で済み午前中には新しい病棟での入院診療がスタートしました。しかし、各部署の机や棚、事務備品などは数も多く29日から開始して2月1日の終日までかかりました。今回は4日間の物品の引っ越し以外にも電話やインターネット、カルテなど情報系の移設の大変さも目の当たりにしました。病院の引っ越しは各部署の機能を取り戻すまでが大事で、皆様の協力無くしてはなしえなかった事だと痛感しています。旧病院の解体後に駐車場ができるまでは、1年以上ありますが無事に引っ越しが出来た事をご報告します。



建設ニュースは今号で終了いたします